令和7年度　学校評価報告書

学校番号(小32) 長崎市立(稲　佐　小)学校

1　教育目標

たくましく未来を切り拓く子どもの育成　　※合い言葉「なりたい自分になる」
＜身に付けさせたい資質･能力：たくましく未来を切り拓く力＞
○よく考え解決する力　○思いを伝え合う力　○チャレンジする力　○自分を大切にする力　○ふるさとを愛する心

2　学校経営方針

子ども・保護者・教職員・地域が誇りに思える学校
○学力を保障する学校　　○心を育てる学校
○体を鍛える学校　　○地域とともに輝く学校

3　重点目標

①学力の向上：特色ある学校づくり・学習指導の充実・ＧＩＧＡスクール構想の推進
②児童会目標の意識化：特別活動の充実・道徳教育の充実・特別支援教育の充実・生徒指導の充実・図書活動の充実・平和教育の充実・国際理解教育の充実・人権教育の充実
③３つの約束の徹底：３つの約束「気持ちの良い挨拶」「履き物をそろえる」「は･さ･み歩き」の徹底・健康教育の充実・学校給食の充実・学校体育の充実・「あ･は･は」運動の推進

4　自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果（肯定的割合･%）			分析及び改善策
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	91%	93%	90%	○概ね良好 ・教職員の「学校の雰囲気」「組織運営」が上昇。特に「組織運営」は単学級担任や特支担任の負担軽減策が効果的に機能。 ・児童の「学校の雰囲気」の低下が少し気になる点である。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	83%	96%	90%	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			90%	
	業務の改善	校務の縮減･効率化等、業務の改善を推進している			90%	
心の教育	生活･生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	61%	82%	76%	○更なる改善が必要 ・教職員の「生活･生徒指導」は大幅に上昇。昨年度の悪結果を受けて生活指導担当を中心にした指導の工夫や徹底が改善につながったと考える。次は８０％達成を目指し更なる改善に努める。 ・児童の「ルールやマナー」と保護者の「挨拶」の低下が課題。安全な廊下や階段の歩行の仕方や温かい言葉遣いの指導がなかなか改善につながらない点を児童自身も感じていると思われる。引き続き粘り強く指導を継続。 ・「あはは運動」は周知の成果が表れた。保護者への更なる周知に努める。
		挨拶をよくしている	94%	72%	76%	
		「あ･は･は運動」を知っている(小学校のみ)	86%	77%	90%	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	87%	92%	95%	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	92%	85%	90%	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	95%	86%	95%	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	98%	90%	81%	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	94%	91%	95%	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	93%	93%	86%	○概ね良好 ・「子どもに学びを委ねる」学習を取り入れた後も「わかりやすい授業」で９０％を超える好結果が得られ続けた点は成果。 ・学びに向かう主体性が家庭でも発揮できるよう今後の学校の学びの習慣を家庭(保護者の実感)につなげる意識を全職員で共有して改善を目指す。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	92%	95%	95%	
		家庭学習の習慣が身に付いている	88%	77%	95%	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	75%	86%	95%	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	93%			

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95%	92%	95%	○概ね良好 ・「あはは運動」の周知の成果が取組の一つである「早寝・早起き・朝ごはん」の上昇にもつながったと考える。今後も好結果を継続できるよう努める。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん（基本的生活習慣）が身に付いている	90%	85%	90%	
		体力向上に努めている	96%	82%	86%	
	食育	食に関する教育活動を行っている	92%	93%	95%	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	86%	90%	90%	○概ね良好 ・昨年度末から育成会活動の大改革に着手したため活動が停滞した面は否めない。そもそも保護者との連携が十分でない学校なので大改革を機に執行部役員等とともによりよい在り方を模索していきたい。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	91%	97%	95%	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	93%	94%	80%	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			86%	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	90%	92%	90%	○概ね良好
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			90%	

5 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

○「学校経営」「確かな学力」「健やかな体」「信頼される学校」「教育環境」は全体的に「概ね良好」である。本校の学校経営方針やその達成に向けた取組が、児童や保護者に理解されていると考える。また、学習指導は、校内研究における学力向上の取組等の成果が、日々の授業改善だけでなく学力調査の結果にも表れ、高評価につながっていると考える。ただし、家庭での学びにつなげることができず、家庭学習に対する保護者の低評価につながっている点は今後の課題である。

○「心の教育」は昨年度から改善が見られた項目が多かった。特に教職員に大幅な改善が見られたのは、昨年度の低評価の反省を全教職員で共有し対策を講じた結果であると考える。特に「生活指導」は生活指導担当を中心に指導の工夫や徹底を図れた点が改善につながった。しかし、８０％を下回った項目（「ルールやマナー」「挨拶」「あはは運動」）があるので、引き続き、各種の校務担当者や管理職が連携し改善の手立てを講じる必要がある。今後も課題に真摯に向き合い全職員で改善に努めたい。

○「学校経営」は教職員の「組織運営」に大幅な改善が見られた。担任業務との兼ね合いを考慮し負担が偏らない組織体制の構築を目指して対策を講じた結果であると考える。「組織運営」の改善に伴い「学校の雰囲気」も改善された。次年度も高評価を維持できるよう対策を継続するとともに、児童の「学校の雰囲気」も９０％以上達成を目指し、全職員で改善に努めたい。

6 学校関係者評価

○地域での挨拶は、不審者と間違われないように黄色いベストや帽子等を着用して行っている。こちらから挨拶をすれば挨拶が返ってはくる。顔見知りになることで挨拶もよくなると思うので、地域行事への参加率を高めていきたい。

○全国のニュースで学校の開錠時刻の話題があった。開錠時刻をもっと早めてほしいとの保護者の要望はあるのか。→今のところない。７時４０分開錠にご理解いただいており、数人の早く到着した児童は児童玄関前で待っている状況である。

○若手の先生は多いのか。若手の先生方へのフォローを大切にしてほしい。→２年目の職員が１名。複数学級がある学年の担任を任せ、校務等の兼ね合いも配慮した同学年の職員を配置し、日常的にフォーローを行っている。

○徒歩での通学は徹底しているのか。→多くの児童が徒歩で通学している。しかし、校区外から通学する児童も多く、保護者の送迎で通学している場面もよく見られる。

○交通安全指導の徹底をお願いしたい。→今年度は大きな事故や事件が発生していない。今後も生活指導主任や学年主任を中心に交通安全指導を定期的に実施し、交通ルールや交通マナーの徹底を図っていきたい。

7 対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

①学校と家庭と地域が目標を共有し改題解決（改善）に向けて取り組む。
・学校行事や懇談会等の機会、学校だよりや学年（学級）通信等を効果的に活用し、学校（学年・学級）の目指す子ども像や学校（学年・学級）目標、成果や課題等を保護者や地域と共有し、それぞれの立場でできる手立てに取り組む。
・挨拶のレベルアップには互いが顔見知りになる交流の機会が欠かせないので、学校における地域行事等の周知を更に徹底し、児童の地域行事への参加率向上を目指す。

②職員の資質能力の向上、特に若手職員の資質能力の向上やフォロー体制の構築に努める。
・今後も業務改善を推し進め、職員が本来時間を費やすべき業務に専念できるような環境づくりに努める。特に若手職員については、組織全体でのフォロー体制の構築や相談しやすい風通しのよい職場づくりに努める。
・児童数の減少に伴って職員数の減少も十分予想される。資質能力の向上だけでなく、働きやすい・働き甲斐のある職場づくりは今後更に求められる課題であるので、職員の声に真摯に耳を傾け、管理職として最善を尽くす。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。 ＜参考例＞ 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等
※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合（整数値のみ）を集計する。